様式３(2020.06改)

作成日　令和　2年　11 月　19日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2395700186
事業所名	グループホーム　メドックガーデンビレッジ緒川

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	区長、民生委員とは、推進会議で情報交換や意見交換を行い、良好な関係性を継続している。ホームイベント時は近隣宅にチラシを配布し、住民と触れ合う機会を作っている。ギター演奏やエステ等の地域ボランティアとの繋がりがあるが、現在は新型コロナ対策で自粛している。また近隣スーパーや喫茶店での地域住民との交流も、現在は自粛している。代わりに弁当の出前を定期的に行い、馴染みの関係を築いている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	推進会議は年6回定期的に開催し、利用者、家族、区長、民生委員、包括支援センター職員、他同業者、法人施設代表が出席し、情報交換や意見交換の場として活用している。イベントや日常の様子を写真を用いて伝えると共に、テーマに触れ認知症ケアの実情を伝えている。推進会議の内容は職員に周知し、サービス向上に努めている。新型コロナ対策にて書面での会議を実施した際には、文書を各出席者に送付して協働関係を継続している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	新型コロナ対策等での必要な情報は、法人事務担当者を通じ情報収集し、現況に即した施設対策に講じている。県市町村の主催する研修には積極的に参加している。広域連合会とはメールでやり取りしたり、手続きで出向き直接運営状況を伝える機会がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	ホーム便りを各ユニット毎に作成し、日常の様子やイベント活動等の写真を掲載して運営の理解を深めている。 年3回、イベント時に家族の集う機会を設け、利用者、家族、職員との親交を深めている。 利用者希望の外出や自宅帰省や冠婚葬祭等は家族と連携し、個別外出の機会に繋げている(現在は新型コロナ対策で自粛している)。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価						×	○	×	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										